



令和元年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【清新地区】

令和2年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 清新地区多世代交流促進会	ポッチャを通じて触れ合う多世代交流事業	少子化が急速に進んでいる中、子供たちの生活環境がスマホ中心の生活になってきており、地域において人と触れ合う機会が少なくなっている。 一方、超高齢化社会の中、高齢者においては、隣近所であってもコミュニケーションをとる機会がすくなくなるにより、人間関係が希薄化し、地域の中での孤立化が課題となっている。	ポッチャは開催が予定されている東京パラリンピックの正式種目であり、子供も、大人も、障害のある人もない人も、パワーのある人もない人もポッチャは誰でもプレーすることのできるユニバーサルなスポーツです。 このポッチャを活用して、障害の有無も含めた多世代の交流による地域での人と人のつながりを強化し、特に、子供から高齢者までが触れ合える地域づくりの場を構築し、地域の活性化を図る。	講習会の開催 各種媒体によるPR活動 地域の公共的な活動団体(地区社協、地区健全協、公民館、PTA等)との連携活動	R1.12.6	158,800	119,000	119,000
2 災害時の避難行動を考える会	災害時の安否確認と避難誘導のための小旗作成事業	大規模地震はいつ起きてもおかしくない。それに対する訓練や備えは進めてはいるが、まだまだ十分とは言えない状況である。その中でも、発災時における正確で迅速な安否確認は重要であり、そのための準備や訓練が必要である。	・大規模災害時において、自治会加入世帯の安否確認を迅速に行うことで、被害の全容を早急にとらえ、かつ被害を最小限にとどめる。 ・小旗を使った訓練を実施することにより、減災のためには自助・共助の取組みが必要であることを自覚してもらう。 ・防災に関する自治会の取組みを通じて自治会への加入促進を図る。	・「黄色い小旗」を作成して自治会加入世帯に配布し、大規模災害発生時において、救助が不要な世帯に、玄関前・ポストなど、外から見やすいところに掲示してもらい、安否確認を迅速に行うための訓練を行う。  ・「避難誘導旗」については、単位自治会の班等の体制が異なることから、今年度については、「黄色い小旗」とともにいくつかの自治会をモデルケースとして訓練を行う。	R1.12.6	1,041,700	1,041,000	1,041,000
- 相模原市自治会連合会中央区連絡会	中央区振り込め詐欺対策事業  9地区合同事業	高齢者をねらった振り込め詐欺被害が全国的な課題となる中、中央区内でも被害が多発している。平成30年度には、相模原市自治会連合会中央区連絡会として、振り込め詐欺防止ステッカーによる高齢者向けの詐欺対策事業を実施したところだが、令和元年も被害件数は増加しており、危機的な状況にある。最近、警察官や銀行、市役所の職員等に成りすまして、暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取る被害も多発していることから、地域の防犯意識の高揚や犯罪を寄せ付けない住環境の創出が求められる。	被害の中心となっている高齢者に向けた啓発だけでなく、詐欺被害防止という目線で周り的高齢者を気にかける地域づくりのため、防犯啓発プレートを作成・掲出し、周知・啓発する。	・防犯啓発プレートの作成 サイズ:縦30cm×横23cm(角)、厚み0.5mm 材質:PVC(白)、PETコート 数量:4,000枚 ・防犯啓発プレートの掲出 自治会員宅など、地区内で見やすい場所に掲出する(掲出場所は各地区の判断によるが、電柱への掲出は決して行わない)。	R2.1.27	1,778,000	1,778,000	1,778,000
						1,200,500	1,160,000	1,160,000

9地区合同事業以外の合計額